

# 平成30年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑩	学校名	大淀養護学校
----	---	-----	--------

## 1. 取組名 大淀養護学校地域連携プロジェクト

## 2. 活動内容

### (1) 幼稚園での園庭整備

本校と同町内にある公立幼稚園に出向き、生徒が園庭や菜園の整備に取り組む活動を実施した。園庭の整備では、腐って使えなくなった木製ベンチの修理や塗装作業に取り組み、生徒たちが電動工具や手工具を使って修理し、ペンキを塗って仕上げた。菜園の整備では、看板の制作やスコップ等を使っての草取りや天地返しをはじめとした畑の整備を行った。

### (2) 「食の乱反射」にスタッフとして参加

11月に五條市で実施される「食の乱反射」に参加し、各出店ブースのスタッフとして活躍した。



## 3. 成果と課題

- 幼稚園からの依頼に対し、自分たちの力で依頼に応えようとする主体的な姿勢が生まれると共に、初めてのことにチャレンジするチャンスとなった。
- 幼稚園の依頼に応えるための力をつけるという目的意識が芽生え、学校の授業の題材に積極的に取り組む態度が生まれた。
- 園児に対して作業を体験させるために、教える工夫をしたり安全に作業するためによく考えたりする機会となった。
- 偶発的に遭遇する学びのチャンスを活かすための準備や工夫が必要である。

## 4. 次年度に向けて

- 自分の活動がどのような意味を持っているのかが実感しやすい活動として是非継続して実施していきたい。
- 地域との関わりの中で、自分が身につけた力を発揮する機会として継続していきたい。
- 学校や地域の双方に大きなメリットとなるようしっかり意思疎通して準備を進めたい。
- 良い交流をするためには、指導者がよい関係を築かなければならないと感じている。